

2月6日(月) 夜間講座 横浜市開港記念会館

18:30-20:30 開場 18:00

記者の目から見たメディアと図書館

ひまし
佐々木央氏 (共同通信社編集委員)

市民の知る自由を支える図書館は、出版・報道等のメディアのあり方と大きな繋がりを
持っています。今、表現の自由はどんな状況にあるのか、報道の立場からお話しいたします。
図書館に働く方、図書館を利用する方、どなたでもご参加ください。

主な著作:『法学セミナー』1998年3月号に「神戸事件とマスコミ」、『文藝春秋』2015年5月号に
「裁判所が認定した事実こそ少年事件を考える原点であるべきだ」を寄稿、
『みんなの図書館』に「マスメディアの現場から」を2003年1月号~2012年3月号まで
76回に渡って連載、『未来なんか見えない 自傷する若者たち』共同通信社 2002年刊、
『岐路から未来へ』共同通信社 2015年刊に執筆など

資料代: 各回 200円



横浜市開港記念会館 横浜市中区本町1-6
みなとみらい線 日本大通り駅1番出口より徒歩1分
JR京浜東北線関内駅南口より徒歩10分
市営地下鉄関内駅1番出口より徒歩10分

問合せ: 図書館問題研究会神奈川支部
事務局 津田さほ
pralines_manoncafe@yahoo.co.jp
0467-25-2611(浅見)

共催: 日本図書館協会図書館の自由委員会

☀ 3月20日(月) 終日講座

講座1 非正規職員の権利 法をどう使うか

10:00-12:00 上林陽治氏 (公益財団法人地方自治総合研究所)

講座2 図書館におけるサービスについて

13:15-14:30 鎌倉市立図書館司書(予定)

講座3 図書館における情報活用について

14:45-16:00

会場 神奈川公会堂 第1会議室 横浜市神奈川区富家町1-3
JR線東神奈川駅/京急線仲木戸駅 徒歩4分